
小説 蟻

hentai be-sisuto

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

小説 蟻

【コード】

N1974Q

【作者名】

hentai be-sisuto

【あらすじ】

短編小説です。短編です。

蟻

小学校の時、友達に蟻と呼ばれている子がいた。だから僕はよく彼の所に蟻を捕まえては持って行っていった。昼休み彼は自分の机で本を読んだりしたけど、よく友達から取り上げられてたりもした。その時も彼はクラス中の男子から蟻と呼ばれていた。僕は昼休みは外で遊ぶんだけど、校舎に戻る間に蟻がいると、捕まえて彼の所に持って行ってあげた。僕が教室に戻っていった時には彼は何も机の上に広げず、椅子に座っている。僕は彼の机まで行って、捕まえてきた蟻を彼の机の上に逃がしたりした。それだけじゃつまらないから、たまには蟻の分解とかを彼の机の上でやった。ジタバタした蟻の姿を見るのは楽しかった。

それで、ある日。給食の時間だったんだけど、僕は早く食べ終わって、手持ちぶさたに自分の机にいたんだけど、床に一匹の蟻が這っているのを見つけた。あ、その日の献立はシチューだったよ。僕はすかさず捕まえて、彼の机に持って行った。彼は給食を食べていた。机はグループでくっつけて給食を食べるから、僕は彼の机の横にしゃがんで、彼の机の上に蟻を放した。それで、さっきそこにいたんだ、って蟻のいた場所を指差して、彼に言った。僕はしゃがんでいるから、蟻は目の前なんだけど、歩いてるのを見ていてもつまらなかったから、僕は蟻を解体した。まず足をもいで、二本もいってから後ろのぶつくらした部分をつぶして、触角を抜いたら特に面白味もなくなつたから、頭を胴体から切り離して、床に払って捨てた。その時くらいに彼が立ちあがった。お盆も持っていないから、なんだろうって思ってた。僕も立ち上がった。お腹になんかすごい痛みがきた。彼が僕のお腹にパンチしたんだ。それで、僕は痛くて痛くて、

お腹を押さえていたら、彼は勢いをつけて僕を突き飛ばした。僕は床に横倒れになった。お腹を押さえながらも、顔を上に向けて彼を見たら、怒った顔をしていて、片を上下に動かして、息も荒いようだった。

そこに先生が入ってきて、喧嘩みたいなのはとまった。先生は彼をなだめて、僕を起こして、教室から連れ出した。それで階段の踊り場で話を聞いた。彼は涙を流して、ひつくひつく言つて、うつむいていたけど、僕はさっぱりだった。なんで彼が怒ったのかもわからないし、なんでこうなったのかもわからなかった。

先生は僕と彼に事情を聴いた。彼は泣いていたから僕が代わりにさつき起きた事の顛末を話した。先生は僕を叱った。なんでそういうことするのって言われたけど、なんでって言われても困った。だって、彼にいつもしてたからしただけだったから、理由なんてなかった。僕はさっぱり分からなくなってきた。なんで叱られたか分からなかった。それから何度か同じことを聴かれたけど、答えられなくて、しまいには涙が出てきた。それで、先生は、とにかくあやまりなさいといったので、僕は彼に泣きながら謝った。彼はもう落ち着きだしていて、うなずいた。

その日の帰り。僕は給食の時の事で気分は良くなかった。校舎をでて校門まで歩いていくと、途中で彼が立ち止まっていた。何か嫌そうな顔で、地面を見ている。僕は近寄って行って、なにしてるの？って聞いた。彼は答えずに足元を見ていた。

蟻の行列があった。彼は蟻を見ていたのだ。

僕は嬉しくなつて、蟻の行列だね、と彼の顔を見て言った。

彼は答えなかった。それに嫌そうな顔のままだった。だから僕は聞いた。

「蟻好きじゃないの？」

彼は何も反応しなかった。

「蟻、嫌いなの？」

彼はうなずいた。僕は合点いった。

そっか、彼は蟻が嫌いだったんだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1974q/>

小説 蟻

2011年1月19日08時02分発行